

	項目名	内容	地区・場所	備考	担当	回答
1	イノシシ捕獲に対する捕獲報奨金について	<p>国より鳥獣被害防止総合対策として令和6年度分は兵庫県に対し3億2000万余りの補助金が支給され、さらに県・市が上乘せをして捕獲報奨金として支払われておりますが、これらの支払明細を教えてください。</p> <p>町内では延べ、90匹以上の捕獲をしておりますが、「止め刺し」は猟友会にさせていただき、後の処分は町内で毎回ボランティアとして行っておりますが、これからもこの作業を引き続いて行うことは次世代の方には理解していただけないかと思っております。ある地域では捕獲したイノシシの証拠写真と切り取った尾・クリーンセンターへ搬入した計量伝票を提示すると1匹につき¥20,000 前後の支払をされているようです。報奨金が納得いく公平な分配になるよう提示していただきたい。</p>	桑原田町		産業部	<p>国の「鳥獣被害防止総合対策事業」として、国費を合わせて県から1,270万円の補助金交付を受ける予定で、市負担分と合わせて約1,379万円の支出を予定しています。内訳としては約1,280万円が獣害防護柵の資材代金、99万円が捕獲や被害防除費用となっております。他に加西市独自の防除、捕獲事業を行っています。</p> <p>有害鳥獣の捕獲について、大変苦勞をされながら住民の皆さまで力を合わせて捕獲及び処理をしていただいていることに敬意を表します。加西市において捕獲後の鳥獣の処理については現在地元にお任せしているところですが、市内全体の捕獲状況も整理、勘案しながら、少しでも住民の皆さまの負担を軽減できるような方策を検討したいと考えています。</p>
2	サステナブルタウン九会(スマートタウン)計画の進捗状況	ため池ソーラーで発電し、スマートタウンと公共施設への電力供給。	下宮木町小畑池		環境部	<p>加西市では、地球温暖化対策と地域の課題解決、住民の暮らしの質の向上を図るため、環境省の脱炭素先行地域づくり事業の対象である九会北部地区において、ため池(小畑池)ソーラーから公共施設(南部公民館、南部給食センター、soraかさい)へと電力を供給する事業を計画しております。並行して開発を計画しておりますスマートエコタウンはZEH+(ゼロ・エネルギー・ハウス・プラス)の高性能住宅を必須とした住宅街とし、各戸に太陽光発電が設置されて、自家消費を行うこととなりますので、ため池ソーラーからの電力供給はエコタウンには行わず、公共施設のみに行う予定でございます。ため池ソーラーを含む当地区の送電網(マイクログリッド)は令和6年度から設計を開始し、令和8年度に工事が完成するよう計画を実施してまいりたいと考えています。</p> <p>また、スマートエコタウンの開発事業については、令和6年度に民間開発事業者を公募選定し、その後、民間開発をすすめていくことを計画しております。</p>

3	<p>鶉野飛行場跡北端から国道バイパス工事の早期着手</p>	<p>県道玉野倉谷線から鶉野飛行場跡北端までの国道バイパス工事は完了しているものの一部しか供与されていない。 今後西笠原町方面の工事に注力すると聞いているが、そうなると鶉野飛行場跡北端から372号線への接続するまでの工事はその後となり、全線開通が更に遅くなると危惧する。 関係部署のマンパワーの問題もあると思うが、早期開通させるためには西笠原町方面と是非同時並行で取り組んでいただきたい。 加西中学校が廃校になるのが令和10年3月末の予定であるが、中学校に掛かる部分以外だけでも先に進めていただきたい。</p>	<p>上宮木町鶉野飛行場跡北端から372号線への接続</p>	<p>国道バイパスの早期開通は必ず加西市の活性化につながる。 また早期に工事が動き始めることでスマートタウン開発や加西中学校跡地利用でも好影響が期待できる。</p>	<p>建設部</p>	<p>国道バイパスの全線開通は市の発展に必要な不可欠な事業であり、兵庫県と共に鋭意取り組んでおります。飛行場北側と西笠原側との同時進行のご要望ではありますが、県の「ひょうごインフラ整備プログラム」において、次期の計画路線として位置付けられているため、同時進行は、予算的にも人的にも困難であると判断しています。 まずは先行する南側のバイパス整備を着実に進めていき、できるだけ早期に全線開通ができるよう取り組んでまいります。</p>
4	<p>鶉野飛行場線開通に伴う変則交差点の安全対策、今後の飛行場跡地の活用について</p>	<p>①ようやく来年開通するようですが、開通に伴い車両の通行量増加が見込まれるが、中・高生の通学路でもあり万全な安全安心対策をお願いしたい。(現状及び今後の取り組みについて) ②跡地活用で新たな施設等お考えがあればお聞かせ願いたい。</p>	<p>鶉野中町</p>		<p>①建設部 ②地域部</p>	<p>①市道鶉野飛行場線と市道中野家塚線との交差点については、現在は「止まれ規制」となっています。 この交差点の信号設置は、国道バイパスを含め全線開通時の交通量を勘案し設置の時期を決定するとの県公安委員会の判断でしたが、要望の結果令和7年度の上半期に設置される予定となりました。 また、市道中野家塚線は、路肩拡幅を継続的に行っており、児童が安全に遊学できるよう鋭意取り組んでまいります。 ②鶉野飛行場跡地周辺は、道路整備が進み、観光や平和学習等、地域発展に大いに期待が寄せられていますが、鶉野飛行場跡地は貴重な戦争遺跡でありますので、跡地への新たな施設の建設等の予定は今のところありません。既存の施設・戦争遺跡を有効活用していきたいと考えています。</p>
5	<p>町所有地の管理について</p>	<p>公会堂(町所有)に生えた樹木の伐採は、市に依頼できますか？ 伐採費用に補助金がありますか？</p>	<p>鶉野南改善センター</p>		<p>地域部</p>	<p>伐採単独の費用に掛かる補助金はありません。 集会所の新築・増築に伴う建築用地での伐採(除去等)は補助対象になります。</p>

6	お年寄りの交通手段について	買い物等に不自由な人が多々おられるので、どうかして欲しいとの意見が多数あります。	繁昌団地内		政策部 福祉部	<p>加西市は、令和5年3月に策定した加西市地域公共交通計画に基づき、誰もが利用しやすい公共交通網の整備に取り組んでいます。ご意見にありましたとおり、市内には鉄道駅やバス停が近くにない公共交通不便地域が存在します。これら公共交通サービスが十分に提供されていない地区には、「地域主体型交通導入の手引き」を作成し、地域が主体となった公共交通の導入を推進していく方針です。地域住民の皆様の協力を得ながら、導入に向けた検討を進めてまいります。</p> <p>併せて、運転免許証を返納された高齢者に対するタクシー券の配布や民間事業者による移動販売も実施していますので、ご活用いただければと思います。</p>
7	若者の流出について	加西市の今の状況を見ると、若者が加西市に住みつこうと思う要素がないように思う。何か魅力ある対応をとらなければ衰退の一途になりかねない。	加西市全体	栄町①	政策部	<p>加西市は「子育てしたいまち」を目標に、令和4年度より「子育て応援5つの無料化」をスタートしました。出生から高校卒業まで1人あたり約250万円の支援と全国的にも高水準なものとなっており、直近2年は子育て世代や就学前のこどもの転入が増加しています。しかしながら、移住・定住を促進するには、子育て世代だけでなく、それより前の世代にもこの情報を適切に伝え、本市での居住を魅力に感じていただくことが必要です。そのため、独身時代から利用できる補助制度などを組み合わせた効果的なプロモーションを展開し、本市の魅力を最大限に伝えるよう尽力してまいります。</p>
8	農地の放置化	近年農業就労者の高齢化につき、農地の放棄田が段々出てきているようだが、今の農業政策では放置化は収まらないと思う。	栄町	栄町②	産業部	<p>放棄田対策は困難な課題です。これまで集落営農組織の立ち上げ及び取組強化、大規模生産者への農地の集積の推進により、放棄田対策を進めていただきましたが、農業従事者全体の高齢化によって、組織の維持が大きな課題となっており、組織力を強化するための規模拡大、広域化が課題となっています。このような課題に対処するべく、国、県と連携しながら生産者の皆様とともに取り組みを進めていきたいと考えています。</p>
9	空き家問題	少子化と若者の流出で、空き家がここ数年の間に出てくるような気がする。空き家の再利用など考え対応してほしい。	栄町	栄町③	産業部	<p>加西市空き家バンク制度として、所有者が申込み、不動産の仲介につなげ、売買や賃貸の物件として活用するための制度があります。</p> <p>また、空き家バンク登録物件の片づけ費用の補助や、空き家を購入された方等への空き家改修補助金制度があり、再利用を促す制度を整えています。</p>

10	農業の将来「地域計画」とファブリックダムについて	5年～10年後の将来に向け地域計画に取り組んでいる(町の一部)ところ、大切な水源である万願寺川のダムが寿命を迎える時期と重なる？と考えるが、各農家の跡継ぎが少なく放棄田(営農で耕作中)が散見される中、費用(パイプライン・ファブリックダム)の負担は厳しい状況である。町の現状を踏まえ、市としての方向性・考え(見通し)を示してもらいたい。	中野町		産業部	農業用施設は地元管理施設であり整備等の負担は必ず必要となっておりますが、パイプラインの整備については、地元負担も少ない国の補助事業を活用して事業を推進していきます。ファブリックダムの更新については事業費が膨大なため、現状加西市では国・県の補助事業での対応となっております。ただ地元負担も多大であるので国・県に地元負担軽減等の要望を行ってまいります。
	当日意見	高齢者や障がい者に、タクシー券を配られているが、南網引町や繁昌団地は、町中から離れているため、1回に3～4枚タクシー券を使えるとしても、タクシーが来てくれないため使えないのが現状である。そうした事情を踏まえて考えていただきたい。			福祉部 政策部	<p>タクシー会社から遠方では距離があり、近い北条のまち内でもワンメーターだからということで行きにくい状況です。また、タクシーの台数自体も少なくなっていることもあり、タクシーチケットを配るだけでは、交通の問題はなかなか解決しないと認識しています。課題をしっかりと洗い出して、どうしていくべきかを検討してまいります。</p> <p>タクシー会社も、人員不足で、全国的にタクシーの数が間に合っていない状況であり、乗り合いタクシー、ライドシェアについての要求の強まりを受け、県のタクシー協会も、柔軟な態度になってきましたので、こうした制度の導入も考えております。</p>
	当日意見	イノシシの捕獲について、報償金はないということだが、予算的に優先順位が低いのか。			産業部	報償金は有害鳥獣として許可を受けたものが対象であり、猟友会の方が受け取るという形になってしまいます。それ以外の方の捕獲・処分につきましては、他地区でされているものと合わせて、何かできないか、検討してまいります。
	当日意見	中野町のファブリックダムが空気漏れとなり、仮補修はしたが、きちんと修理するとしたら4,000万円ぐらいかかる見込み。人口減少により、住民負担が難しい状態である。			産業部	農業施設の改修等については、受益者の負担が必要であり、負担率の低いものでも15%で、4,000万円の15%だと600万円となります。また、受益者負担に対するご支援は難しいと考えております。
	当日意見	南網引のため池に入る水路で、5～6人の男が、イノシシの解体をしていた。市外の間人が、加西市内で処分して、肉だけ持って帰るとするのは、すこし理不尽であると感じた。何とか条例等で、規制の方向に持っていけないのか。			産業部	禁猟区以外は、誰でも狩猟できますので、どこの住人だから取ってはいけないというのは、狩猟法の関係上難しいです。解体についても、そこに廃棄するのはやはり問題があるとは認識しておりますが、規制は難しいところです。一度警察に相談してみます。

	<p>当日意見</p>	<p>町内の空き家で、賃貸で入居された方が、不在で、3年ほど住まれておらず、放棄された状態で庭も草や木が生い茂っている。管理をして欲しいとお願いしても、なかなか対応してもらえず、所有者に連絡しても対応してもらえない。町として、勝手に手を出すわけにもいけないので市の方で何か対応ができないか。</p>			<p>政策部</p>	<p>空き家がきちんと管理がされていなければ、文書指導を防災課の方で行うことができますが、指導を聞いてもらえるかどうかは分からないところです。</p> <p>タウンミーティングをさせていただく中で、空き家の問題については、これからも増えてくると認識しております。有効利用はもちろんですが、危険空き家問題や環境問題など様々な問題があり、重要かつ喫緊の課題であるという認識のもと、しっかりと勉強し、早期に何らかの対応をとれるような体制をとるよう努めてまいります。</p>
	<p>当日意見</p>	<p>鶉野南町の、「町の所有地の管理について」という要望で、公会堂の樹木伐採だが、以前、鶉野上町の天満宮の樹木伐採について、農林整備課の補助制度を利用したことがあった。鶉野南町も活用されたらどうかと考える。</p>			<p>産業部</p>	<p>町で樹木伐採を実施される場合には、1年10万円の里山整備補助があり、複数年使えるようになっております。管理に困っている山林部分があれば、10万円と少額ではございますが、有効に活用いただければと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。なお、あくまで里山整備補助でございますので、里山であることが条件となります。</p>